

各 位

会社名 株式会社 ア ル ク
代表者名 代表取締役社長 平本 照磨
(JASDAQ・コード番号：2496)
問合せ先 取締役副社長 影山 哲也
電 話 03-3323-1276

英語スピーキング能力評価テスト「T-SST」(Telephone Standard Speaking Test)を日本におけるスピーキング評価のスタンダードテスト化へ向けて

近年、英語によるコミュニケーション能力が求められる中、当社がACTFL(全米外国語教育協会)と共同で開発した、「T-SST」(Telephone Standard Speaking Test)を、聴解力と読解力という受動的な能力を客観的に測定する英語のテスト「TOEIC(R)テスト」を補う、能動的な能力を測るスピーキング能力評価テストとして受験者数獲得を強化し、日本における英語スピーキング能力評価テストの指標となるスタンダードテストとしての定着に一層注力してまいります。

記

【概要】

当社はACTFL(全米外国語教育協会)と共同で、ACTFLが中心となって開発した外国語のスピーキング能力を測定する専門のテスト「Oral proficiency Interview」(=OPI)を基に、インタビュー形式による英語学習者のための英語スピーキング能力テスト「SST」(Standard Speaking Test)を開発し、1997年にサービスの提供を開始いたしました。2004年からは電話で24時間いつでもどこからでも受験可能な「T-SST」(Telephone Standard Speaking Test)の独自開発に成功し、サービス提供を開始しております。

【特徴】

■ 「SST」(Standard Speaking Test)

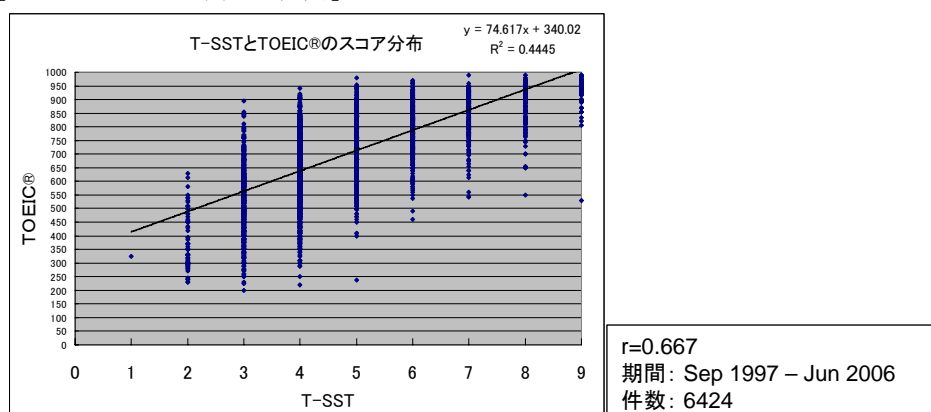
1対1の対面式の英語スピーキング能力テストになります。試験官と約15分のインタビューを行い、試験後に専門の訓練を受けた2人または3人の評価官が独立してインタビューを聞き、英語のスピーキング能力を9段階で総合的に評価します。

■ 「T-SST」(Telephone Standard Speaking Test)

電話によるスピーキング能力テストになります。「SST」の際に試験官が対面で行う質問を、電話による自動出題で行うことにより、場所や時間等の環境的制限を軽減しました。また受験者の回答分析・評価は「SST」同様に厳しい評価官認定試験に合格した評価官が行うため、精度の高いスピーキング力評価を提供できます。英語のスピーキング能力は9段階で総合的に評価します。更に「T-SST」では、予め録音された膨大な質問群の中からコンピューター

がランダムに質問を抽出するため、何度受験してもその度に違う問題群となり、同じような質問に偏る心配はありません。

【T-SST と TOEIC (R) の相関】



T-SST Level	1	2	3	4	5	6	7	8	9
TOEIC®平均	325	377	528	644	733	792	840	870	928

【採用実績】

第4期におけるSST採用団体は6企業・教育機関、T-SST採用団体は79企業・教育機関となっており、累計受験者数は3万人を超えています。(SST、T-SST合計)

■主な採用企業・教育機関

(平成19年7月15日現在)

旭化成グループ	伊藤忠商事株式会社	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ
航空大学校 宮崎本校・帯広分校	政府機関	全日本空輸株式会社
トヨタ自動車株式会社	日本マクドナルド株式会社	早稲田大学

【業績に与える影響】

前連結会計年度(第4期)までの主な販売先である民間企業に加えて、当連結会計年度(第5期)は政府機関に対しての営業にも注力し、今期の販売額は50,000千円(対前年比178.6%)を予定しております。また第6期以降に関しましては受験者数増加率30%を目標としております。

なお当連結会計年度における業績に与える影響は軽微であります。

以上